

Yonago East Weekly



【数は力なり、継続も力なり、親睦は結束を生み、結束は大いなる力なり】

- 創立/1968年4月24日 ● 事務所/米子市西福原1-1-55 スマイルホテル米子 Tel.(0859)32-5531
- 例会日/水曜日12:30~13:30 ● 例会場/A N A クラウンプラザホテル米子
米子市久米町53-2 Tel.(0859)36-1111
- 会長/伊藤慎哉 ● 幹事/林 俊一 ● 会報/牧田継夫

出席報告

会員数：110名
出席数：72名 欠席数 30名
出席免除会員 7名：荒川(雄)君 杉原(弘)君
新納君 宮本(守)君 高橋(孝)君 小谷君 植田君
出席率 71.29%

メイクアップ

9/3 会員12名 (第3回理事会)

スマイルBOX 36,000 円 (409,000 円)

本人誕生日祝：梅田君 小林(慎)君 新納(哲)君
高橋(宏)君 尾沢(裕)君 岡君 杉原(弘)君 牧田君

創立記念日祝：前田君 吉岡君 諸遊君 ✨



主・夫人誕生日祝：小林君

結婚記念日祝：石川君 (順不同)

・NPO法人日本コーチ協会山陰チャプターはお陰様で10周年を迎えることができました。10/27 (日) 夢みなとタワーにて10周年記念講演会を行います。ぜひご参加ください。足立(博)君

《幹事報告》



(1)9/11 ガバナー公式訪問例会

榊原ガバナー

坪井地区資金管理小委員会委員長

100%出席例会

(2)10/6地区大会のご案内 (岡山ドーム)

(3)当クラブ休会日 9/18

他クラブ変更は掲示板

【会長挨拶】



挨拶に先立ちまして一言、私の亡き母の葬儀に際しては暖かいご厚情を賜りましたこと、非常に感謝をいたしております。ありがとうございました。

では会長を挨拶に移ります。みなさん、こんにちは。声がちょっと小さいですね。みなさん、こんにちは。～。元気にやっついこうと思います。今日は何を話そうかなと思いましたが、健康についてちょっとお話をしていこうかなと思っております。今年の6月から、厚生労働省が開業医に対して、糖尿病、高血圧、高コレステロール血症、この3つの疾患はメタボニックシンドロームの診断基準にも全て入るんですが、この3つの疾患に対してきちんと指導をなささいよ、特に4ヶ月に1回指導内容を文書に残して、それに患者さんにサインをしてもらいなさい、という試みが始まりました。確かにメタボニックシンドロームが大きな指針の条件になりますので、今回の厚生労働省の指導は素晴らしい試みではあるんですが、私の開業医としては仕事が増えたということになります。私自身も高血圧、糖尿病、高コレステロール血症の薬を飲んでおりますので、自分の体調管理はしっかりやっついかなければいけないな、というところでございます。

もう1つ話は変わりますが、私の病気自慢をちょっといたします。4年前と3年前に大きな病気にかかりまして、大変な手術を受け現在は完治しております。ただ4年前、3年前に病気にかかっておりますので、いつまた何か他にみつかるかは分かりませんので、もう今しか会長をやれる機会がないのではないかと、というところで会長職をやっております。

皆さん健康診断は非常に大事です。特に、人間ドックが病気の早期発見に最も有効だと思います。皆さんぜひ人間ドックを受けてください。以上で、会長挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



THE MAGIC OF ROTARY



【ロータリーの友】雑誌委員会・西村正男 君

- P 5 R | 会長メッセージ・・・ファミリーの意味
- P 7～13 9月は基本的教育と識字率向上月間ということで、他ロータリーの海外での支援活動が紹介されています。
- P 14～19 「ロータリーの友」をフォローする地区のリーダーたち第2690地区の飛山美保 君も紹介されています。
- 縦書き P 4～8 セイコウ・イシカワ ベネズエラ大使のIM講演



【私の職業】・・・(株)鳥取銀行 米子営業部 執行役員部長 伊藤 祐介 君



私は1970年5月に埼玉県で生まれ、生後9ヶ月で父親の転勤を機に母親の実家でもある米子に帰ってから、ずっと米子で過ごしてまいりました。そこから一度、大学で関西の方に出て、1995年の4月に鳥取銀行に入行しました。

鳥取銀行は、鳥取県に本店を置く唯一の地方銀行です。鳥取県では、人口減少や少子高齢化が進んでいます。後継者不足率も高く、事業者数が年々減少しています。こうした環境下で地域が存続していくためには、未来を担う世代が安心して暮らせる街をつくることや、雇用の場を守ることが必要です。そういった持続可能な地域をつくり、守り支える存在になりたい。というのが鳥取銀行のパーパスです。鳥取銀行としては、鳥取県のサステナビリティを高めること、これが究極のミッションなので、鳥取県の未来これをつくる、守る、支える、これが鳥取銀行のパワーバランスだと我々は考えています。

略歴

- 1970年5月 埼玉県にて生まれる
- 1971年2月 米子市に帰郷
- 1975年3月 良善幼稚園 卒園
- 1983年3月 加茂小学校 卒業
- 1986年3月 加茂中学校 卒業
- 1989年3月 米子東高等学校 卒業
- 1995年3月 関西学院大学 商学部 卒業
- 1995年4月 株式会社 鳥取銀行 入行

鳥取銀行の経営ビジョン



パーパスとは？

- ・企業の存在意義
- ・企業の社会的役割
- ・パーパスは、全てのステークホルダーが共感できるもの (従業員、顧客、株主、地域等)
- ・経営理念は、創業者、経営者が重視する価値観

鳥取銀行のパーパス

～地域社会の未来を「創る」「守る」「支える」～

私たち鳥取銀行が本店を置く鳥取県では、人口減少や少子高齢化が進んでいます。後継者不在率も高く、事業所数は年々減少しています。こうした環境の下で、地域が存続していくためには、未来を担う世代が安心して暮らせるまちを創ることや、雇用の場を守ることが必要です。

私たちは、地域金融機関として、これまでの金融の枠組みを越えたサービスを提供するとともに、更なる地域の価値向上に取り組むことで、持続可能な地域社会の未来を「創り、守り、支える存在」になりたいと思っています。



鳥取県と県民の日

とっとり県民の日 ... 9月12日

- ・平成10年に制定 (鳥取県条例として制定)
- ・なにを記念した日なのか？

鳥取県の銀行史

大正14年には、鳥取県に本店を置く普通銀行は12行も！

- ・山陰実業銀行 + 雲陽銀行 = 雲陽実業銀行
 - ・中国興行銀行 → 米子銀行に吸収合併
 - ・大正鳥取銀行 → 雲陽実業正銀行に吸収合併
 - ・豊恵銀行 → 米子銀行に吸収合併
 - ・若桜銀行 → 雲陽実業銀行が買収
 - ・雲陽実業銀行 (鳥根県) → 松江銀行 (鳥根県) に吸収合併
 - ・浦富銀行・・・解散
 - ・山陰銀行・・・営業免許取消
 - ・因伯銀行・・・解散
 - ・八頭銀行・・・破産
 - ・米子銀行 + 松江銀行 (鳥根県) = 山陰合同銀行 (鳥根県)
- 昭和16年には、ゼロに・・・

パーパス

戦後復興を支える地元銀行が必要だ！

鳥取県に本店を置く唯一の地方銀行

- ・昭和24年設立 (普通銀行なし県からの脱却)
- ・公募トップの名称は鳥取県民銀行

同じ時代に、扶養相互銀行 (ふそう銀行) が設立されるが、平成3年に山陰合同銀行に吸収合併される

まとめと・・・

- ・鳥取銀行の存在意義 (パーパス) の根本は「鳥取県に本店を置く唯一の銀行」
- ・経済規模の小さな鳥取県には、絶対に地元銀行が必要である (逃がない)
- ・逆に経済規模が大きな県には地元銀行はなくてもいい (他からいくらでも来る)
- ・鳥取県と鳥根県は最も重要なパートナーであると同時にライバル
- ・米子が発展するためには、鳥取県の存続が必要 (山陰の中心)
- ・鳥取県のサステナビリティを高めることが、鳥取銀行の究極のミッション

～鳥取県の未来を「創る」「守る」「支える」～



ご清聴ありがとうございました